

2020年8月30日主日礼拝

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

招詞：ヨハネの福音書 6章 16節～21節

夕方になって、弟子たちは湖畔に下りて行った。そして、舟に乗り込み、カペナウムの方へと湖を渡って行った。すでにあたりは暗く、イエスはまだ彼らのところに来ておられなかった。強風が吹いて湖は荒れ始めた。そして、二十五ないし三十スタディオンほど漕ぎ出したころ、弟子たちは、イエスが湖の上を歩いて舟に近づいて来られるのを見て恐れた。しかし、イエスは彼らに言われた。「わたしだ。恐れることはない。」それで彼らは、イエスを喜んで舟に迎えた。すると、舟はすぐに目的地に着いた。

賛美：教会福音讃美歌 42「主イエスの名をほめたたえよ」

主イエスの名を ほめたたえよ すばらしい主 その名を
力の君 すべての王 すばらしい主 その御名
主は牧者 救いの岩 全能の神
主を愛し 主をあがめ 主イエスの御名 たたえよう

聖書交読：詩篇 62篇

- 1 私のたましいは黙って ただ神を待ち望む。私の救いは神から来る。
- 2 神こそ わが岩 わが救い わがやぐら。私は決して揺るがされない。
- 3 おまえたちは いつまで一人の人を襲うのか。
おまえたちは こぞって打ち殺そうとしている。
城壁を傾け 石垣を倒すように。
- 4 実に彼らは 人を高い地位から 突き落とそうと企んでいる。
彼らは偽りを好み 口では祝福し 心では呪う。 セラ
- 5 私のたましいよ 黙って ただ神を待ち望め。
私の望みは神から来るからだ。
- 6 神こそ わが岩 わが救い わがやぐら。私は揺るがされることがない。
- 7 私の救いと栄光は ただ神にある。
私の力の岩と避け所は 神のうちにある。

- 8 民よ どんなときにも神に信頼せよ。
あなたがたの心を 神の御前に注ぎ出せ。
神はわれらの避け所である。 セラ

- 9 低い者はただ空しく 高い者も偽りだ。
秤にかけると彼らは上に上がる。彼らを合わせても息より軽い。
- 10 圧制に頼るな。略奪に空しい望みをかけるな。
富が増えても それに心を留めるな。
- 11 神は一度告げられた。
二度私はそれを聞いた。力は神のものであることを。
- 12 主よ 恵みもあなたのものです。
あなたは その行いに応じて人に報いられます。

賛美：教会福音讃美歌 418「いつも私を支え」

1. いつも私を支え 力をくださる主
どんなことがあっても 信じてゆだねます
深い恵みをいつも 備えてくださる主
つらく苦しいことも すべて益と変わる
2. いつも近くにおられ 愛の目を注いで
悩む心を照らし 勇気をくださる主
愛する者をいつも 守ってくださる主
私のことをすべて 知っておられる方
3. どんな苦しいときも 助けてくださる主
確かな主の約束 私をなぐさめる
いつもあなたの御手で 私を導いて
天に帰るときまで 支えていてください

頌栄：教会福音讃美歌 268「父・子・聖霊に」

父・子・聖霊に み栄えあれ はじめにありて 今もあり
とわにいます 主をたたえん アーメン